

包 括 的 公 表

平成 26 年 7 月～9 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
入院	身体抑制のマグネットキーが近くにあったので、患者自ら外して離院した。	抑制帯の器具の取り扱いについて、管理方法を周知徹底する。
入院	点滴交換の際、中心静脈カテーテルにエアーが混入したが、健康被害はなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己判断せず、先輩看護師に相談をする事を徹底する。 ・未経験項目は、経験できるように指導する。
入院	合併疾患に対する禁忌薬を投与し、軽度副作用出現したが、経過観察で消失した。	セレネースを投与する場合は警告のアラートが出るシステムとする。
入院	術前休止薬を内服したので手術が延期となった。	術前休止薬の知識を院内で共有する。
入院	口腔内治療中に金属の切片を誤飲した。切片は排泄され、健康被害はなかった。	金属を切断・分離せずに一塊として除去する。
入院	コールド・ホットパック使用の温罨法で熱傷を生じた。軟膏処置で軽快した。	コールド・ホットパック最新の取り扱い説明書を周知する。
入院	麻薬を過少投与した。健康被害は生じなかった。	麻薬投与の手順を遵守する。

発生場所	概 略	再発防止策
入院	意識障害がある精神障害救急搬送患者の入院対応に難渋した。	意識障害がある救急車で来院した精神障害患者への対応の仕方を決める。